



◇全国水辺の風景画コンテスト
佳作 島田新太さん（4年生）で、「1」

◇長崎県まちづくりの絵コンクール
奨励賞 松木琴葉さん（2年生）で、「1」

◇12月5日（日）
壱岐の島ホールで行われたピアノの発表会で
演奏した皆さんの頑張りで、「1」

◇持久走記録会で、全校のみんなが頑張りましたので、「1」

今回の合計は「4」。これを前回の「159」に加えて、メーターは「163」になりました。2学期が終わるまでに、いくつまで伸びるでしょうか？皆さん、楽しみにしてください！

ヒヤリハットの情報提供ありがとうございました！

10日（金）、地域の方から、「壱岐保育園付近の道路で、下校途中の小学生が、ちょっとふざけた様子で、道路へ飛び出しをしているのを見かけました。車を運転中で後続の車もいたので、止めて、その場で直接注意ができなかったけれども、とても危ないと思ったので、お知らせします。」との連絡をいただきました。連絡を受けて、学校では、その日に、全学級で、下校前の子供たちに、交通安全を再度指導したところです。

以前もお伝えしましたが、交通事故に限らず、危険なことについては、繰り返し、繰り返しの注意喚起が欠かせません。貴重な情報提供に心から感謝します。ありがとうございました。そして、これからも、よろしくお願いします。

主な行事予定

<12月>

14日（火）：豆腐づくり（3年）
15日（水）：支部児童会・集団下校
20日（月）～22日（水）：玄関ピアノ
24日（金）：第2学期終業式

12月25日（土） 冬休み
～1月7日（金）

※冬休み中も、子供たちを事故や事件から守る見守り・声かけ・注意をお願いします。

<令和4年1月>

11日（火）：第3学期始業式
12日（水）：えいかっ子チャレンジ（国語・算数）
12日（水）：学期初め身体測定実施週間
17日（月）：3年生クラブ活動見学
18日（火）～20日（木）：書き初め展
19日（水）：学級懇談会（6年生のみ）
27日（木）、28日（金）：CRT学力検査

※上記の内容は、あくまで現時点での予定であり、変更になる場合があります。

玄関ピアノ in Xmas

子供たち（希望者）が、盈科小学校の玄関で、昼休みの時間にピアノを弾きます。素敵な音色が、校舎や中庭に響きます。保護者の皆様、地域の皆様も、よろしければ、ご鑑賞ください。

給食費は、必ず納入を！（繰り返し、繰り返しのお知らせ）

給食費の未納が、まだあります。給食費は必ず納めるようにしてください。

長期の未納になった場合、状況によっては、裁判所を通した手続きによる納入（強制執行含む）となります。

催促状が届いたら、必ず、そして、すぐに納入してください。



人を
喜ばせる
人になる

盈科小学校学校便り No. 2 5

令和3年12月14日
文責 校長 中上一義

1冊の本との出会いは、あなたの未来を変える！

この言葉は、2学期の課題の一つであった「読書量を増やす」ための、ある取組の中で、本校の6年生の子供たちが考え出した言葉です。とても素敵な、心に残る言葉だと思いませんか？

2学期、本校では、読書量を増やすという1学期の課題解決を目指して、様々な取組を行いました。

その主なものを紹介すると、

① 代本板を一人2枚に増やし、これまでよりも、本を借りやすくする。

② 学級に置いている本の貸し出しを増やす。

③ 目標冊数を意識して本を読み、達成者は、階段に掲示した「全校の読書の花」にシールを貼り、全員で、大きな読書の花を咲かせる。

④ 2月には、読書を頑張った子供に多読賞を贈る。

また、10月末から11月初めにかけての読書週間では、次のことに取り組みました。

① 読書集会

② 家族10分間読書

③ 読書ビンゴカード→ビンゴカードに書かれた様々な条件に合う本を読み、○をつけ、ビンゴのラインが3本揃ったら、図書委員会で作った菓子を貰える。

④ リクエストボックス→この本が読みたいという子供たちからの本のリクエストを聞き、本の購入の際に参考にする。

さらに、新たに取り入れたのが、代表委員会を開き、子供たちがアイデアを出して、読書をたくさんすることにつながる取組です。その中から、次の2つが生まれました。

① 盈科小学校独自の本のキャラクターを考えて、各学級でポスターを作り、たくさん本を読むことを呼びかけよう。

② 特に11月末から12月初めにかけて、何冊読むか目標を決めて、目標を達成して、ヨロコビメーターを増やそう。

この子供たちのアイデアで生まれたキャラクターが「ブックくん」と「ブックちゃん」です。上記の画像は、6年生が作成したポスターで、ポスターの中では、「ブックくん」と「ブックちゃん」が、本を読むことを呼びかけています。その中に、冒頭に紹介した言葉が書かれていたのです。

このような取組もあって、学校内での読書数は1学期よりも確実に増えていきます。中には、1学期と比較して、読書量が飛躍的に伸びた子供も出てきました。

本を読むことの指導について、本校は、2段階で考えています。まずは、とにかく本を手にとらせ、本と出会わせること、その次は、より質の高い読書にステップアップすることです。

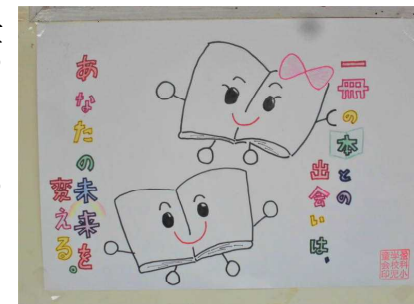
「読みなさい」と言わず、子供が自然に本を読むようになればいいのですが、そう簡単にはいきません。実際に本に手に取り、ページを開いてみて初めて、本の良さや面白さはわかるものです。ですから、最初はとにかく、目標を持たせたり、様々なイベントを行ったりして、本を手にとらせることを行っています。

まもなく始まる冬休み。子供たちにとって、いつもより少し時間がある時期だからこそ、家庭でも本を読むことを勧めてみてください。

そのどこかで、子供たちに、

「1冊の本との出会いは、あなたの未来を変える」

と言えるような出会いがあることを期待しながら……。



11月29日(月) 全校朝会「聞かせて先生」 平田先生のお話を聞きました！

全校児童が集まって、先生の話聞く「聞かせて先生」の取組。



今回は、平田先生の話でしたが、子供たちは、平田先生から、「自分の機嫌は、自分でとる」、そのために「自分の好きなことを増やす。平田先生は、それが音楽」という話を聞くことができました。

自分の気持ち等を自分でコントロールしようとするということは、メンタルヘルス上、とても大事なことです。ところが、現代では、周囲の言動等に非常に敏感で、それらに心が左右される子供が多いように感じます。それは決して好ましいことではありません。

だからこそ、自分の心を自分でコントロールすることの大切さを聞いたことは、とても貴重なことでした。

12月1日(水)～3日(金) 6年生 修学旅行 3日間、たくさんのことを体験し、学び、楽しみました！

新型コロナウイルス感染症の影響で、2回延期になっていた、6年生の修学旅行を、実施することができました。この行事に向けて、実行委員会を中心に準備を進めてきた6年生にとっても、願いが叶った日になりました。



3日間を通じて、ほとんど雨に降られることなく、それぞれの見学先や宿泊先で、多くのことを体験し、学び、たくさん楽しむことができた3日間になったと思います。

修学旅行における6年生の姿は、盈科小の6年生として、とても素晴らしいものでした。

詳しくは、次号の一面に掲載しますので、ぜひ、お読み下さい。

12月2日(木) チャレンジ検定② 合格目指して、頑張りました！

盈科小の学力向上策の一つに、目標を持って学ぶ習慣づけがあります。このことを目指して、今年度は、チャレンジ検定を行っています。これは、検定合格という目標に向けて自分なりに頑張ろうとする習慣をつけようという取組です。検定は、この日が2回目でしたが、子供たちは頑張って取り組みました。この取組は、冬休み明けの「えいっ子チャレンジ(漢字・計算)」に続いていきます。

12月6日(月) 「おはなしぼけ」の皆様による読み聞かせ 今回も、素敵なお話を聞きました！

コロナの心配が少しずつではありますが少なくなり、様々な教育活動を、配慮はしながらも、以前と同じように行えるようになってきました。「おはなしぼけ」の皆様による読み聞かせもその一つです。この日も、子供たちは、興味津々で、お話を聞きました。

「おはなしぼけ」の皆様は、読み聞かせが終わった後は、図書室の環境整備等もして下さっています。おはなしぼけの皆様、ありがとうございます。そして、これからもよろしくお願いします。



12月6日(月) 代表委員会 5年生が中心となって、6年生の卒業を祝うことについて話し合いました！

今回の代表委員会の議題は、6年生の卒業を在校生でお祝いしようでした。この内容ですので、6年生は会議には参加せず、5年生が新リーダーとなって、在校生をまとめ、様々な取組を進めていくことになります。

話し合いを進めた5年生の態度は、新しいリーダーたる、とても素晴らしいものでした。決定した取組内容は、ここでは秘密にしておきます。



12月7日(火) 4年生校外学習 松永記念館を見学しました！

4年生の社会科では、郷土を開いた人々のことを学習します。竜崎市のカリキュラムでは、竜崎の出身で、電力再編成等、数多くの国家レベルでの事業に関わった松永安左エ門を学習しました。教室での授業で、調べることを決めた子供たちは、松永記念館の定村様のお話をしっかりと聞き、メモをとりながら、学習できました。ここにも、4年生の成長した姿が見られました。



11月～12月 高学年が低学年に教える取組 1、2年生が、タブレットの使い方を教わりました！

この期間に、1、2年生は、タブレットの使い方を学習しました。基本的なルール等を担任の先生と学習した後、子供たちは、それぞれ、いろいろとタブレットを使ってみることに挑戦しました。

その際に、一人一人の横について教える役目を担ったのが、5、6年生です。5、6年生の子供たちは、1、2年生に対して、丁寧に使い方を教えました。

実は、教えるという立場に立つということは、教えられる立場にいる以上に、教える内容が身に付くのです。そういう意味でも、5、6年生にとっても、とてもよい学習の場になりました。

